

「福祉介護・共同送迎サービス『ゴイッショ』」の実証実験を 大阪府豊中市で開始

～通所介護施設同士の「互助」で支える新モデルを構築～



ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、「福祉介護・共同送迎サービス『ゴイッショ』」の新モデルを構築し、大阪府豊中市で実証実験を開始しました。

従来モデルの「ゴイッショ」では、運営主体となる非営利団体等が複数の通所介護施設における送迎業務や車両管理を担い、共同運行することで各施設における業務効率化に取り組んできました。今回新たに構築したモデルは、通所介護施設同士が互いに送迎業務を委託・受託し合うという、地域内での「互助」を軸としたもので、運営団体は車両の管理は行わず、施設間の仲介、及び運行管理システムを活用した送迎業務の管理を行います。これにより、運営団体の負担を抑えることで、豊中市^{※1}のような多数の介護施設が密集する地域においても、持続的な共同送迎サービスの提供が可能になると考えています。

今回の実証実験の運営主体は一般社団法人 豊中市介護保険事業者連絡会が担い、2026年7月1日(水)から2026年8月31日(月)まで実施予定であり、市内8施設が参加します。各施設で保有する20台の車両がお互いの送迎を助け合い、延べ約185人の送迎を予定しています。委託側の送迎希望に対し、運営団体が受託側の送迎車の空き席状況と照らし合わせ、最適な組み合わせを考案した上で、受託側に効率的な送迎ルートを提示します。参加施設の中には、送迎業務の委託と受託の双方の立場を担うケースも想定されます。

実証実験を通じて、送迎業務の効率化や施設間連携による効果を確認するとともに、運営上の課題を整理し、持続可能な共同送迎モデルとしての事業成立性を評価します。なお、介護施設間での乗合による共同送迎の取組みは、全国初^{※2}となります。

ダイハツは今後も「ゴイッショ」をはじめとした、地域社会に貢献できるサービスの提供を通じ、福祉介護分野における地域課題の解決と持続可能なモビリティ社会の実現に取り組んでまいります。

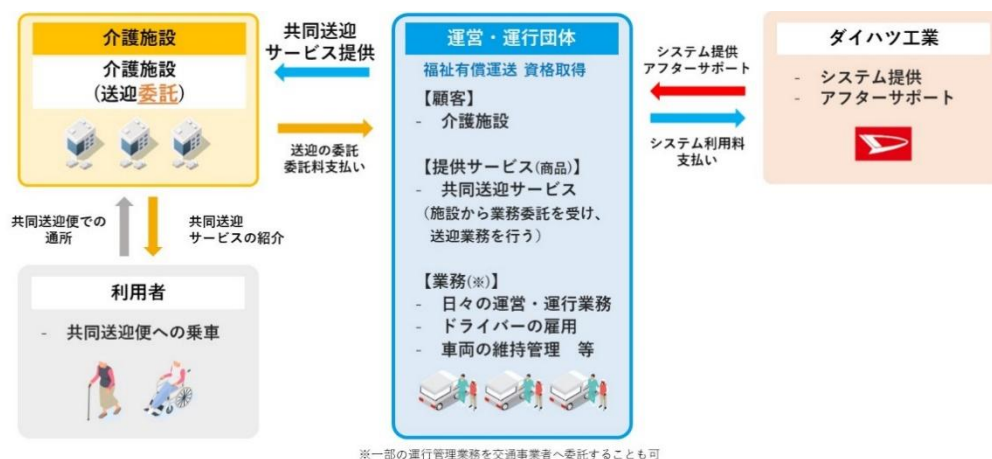
※1:豊中市 人口：約40万人（2026年6月時点、出典：豊中市推計人口 豊中市）、通所介護施設数：約137施設（2026年6月時点、出典：地域医療情報システム（日本医師会））

※2:2026年7月時点。ダイハツ調べ。

◆実証実験概要

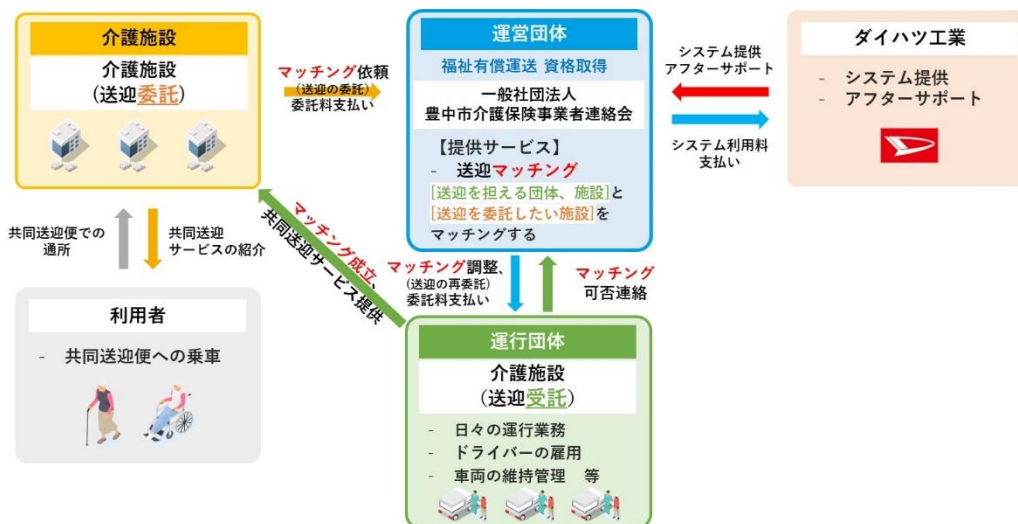
事業主体	一般社団法人 豊中市介護保険事業者連絡会
実証期間	2026年7月1日(水)～2026年8月31日(月)
運営主体	一般社団法人 豊中市介護保険事業者連絡会
ドライバー	ドライバー
参加施設数	通所介護施設 8 施設
車両台数	20 台
想定利用者数 (延べ)	約 185 人

◆滋賀県野洲市及び香川県三豊市で実施中の「送迎業務集約」モデル



◆豊中市で取り組む「施設同士の互助送迎」モデル

※実証実験では、委託する施設から運営団体への支払いは無し。



<「ゴイッショ」ホームページ>

<https://www.daihatsu.co.jp/goissho/>



<「ゴイッショ」の問い合わせ専用窓口>

T E L : 072-747-2193 / E-mail : goissho@dk.daihatsu.co.jp

受付時間 : 月～金曜日 9:00～12:00・13:00～17:00

(祝日、GW・夏季・年末年始休暇などの当社指定休日を除く)